

## 大腸癌に対する mFOLFOX6+Panitumumab療法

(レボホリナート+オキサリプラチン+フルオロウラシル+ベクティビックス) DRPHW\_DRPHW\_1

2008年10月10日 承認

2024年08月30日 改訂

Dr.sign

Ns.sign

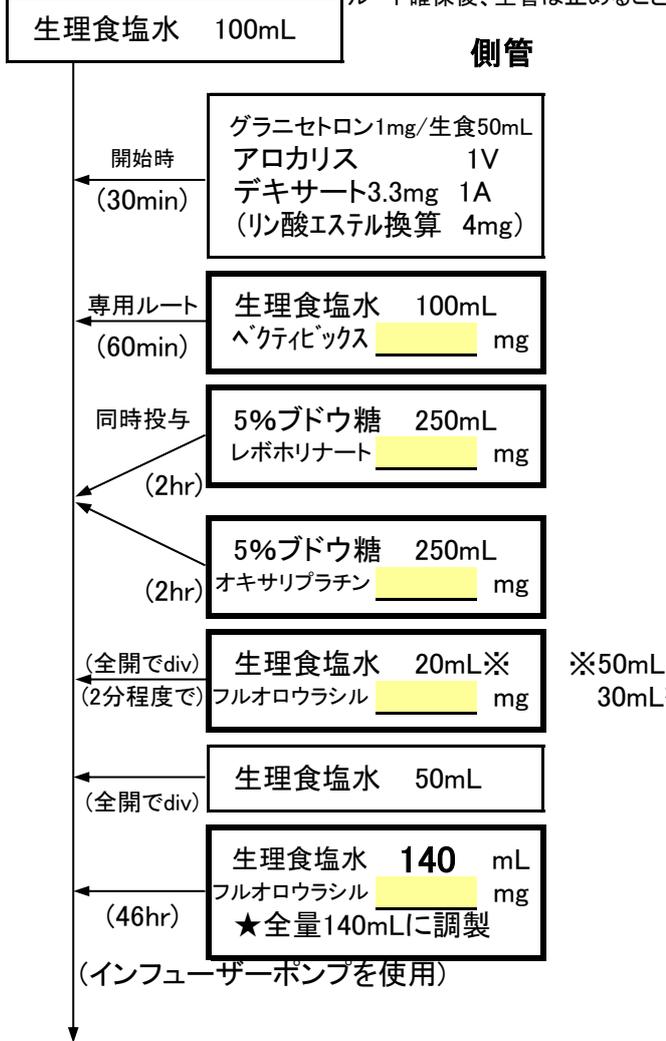
Ph.sign

病棟・科名	登録番号	氏名	年齢	身長	体重	体表面積
	<<SYPID>>	<<ORIBP_KANJI>>	様 <<SYAGE>>	cm	kg	m <sup>2</sup>
疾患名	施行予定日	実施サイクル	【調製指示】			
	月 日 ~ ( )	コース目	コース予定	<input type="checkbox"/> 調製可 <input type="checkbox"/> TEL連絡後調製		
備考[標準投与量逸脱など]			放射線併用			
			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			

Day1 ( / )

本管(中心静脈ポート)

ルート確保後、主管は止めること

※50mLの容器から  
30mLを破棄

終了後に自己抜針

(初回は本人及び家族に指導し、  
自己抜針してもらう)

Day2 ( / ) ~ Day3 ( / )

《治療翌日朝より2日間服用》

デカドロン錠 1回 4錠を

1日2回(朝昼食後) 服用

mFOLFOX6+Panitumumab療法

標準投与量:

Pmab	6 mg/kg	day1
I-LV	200 mg/m <sup>2</sup>	day1
L-OHP	85 mg/m <sup>2</sup>	day1
5-FU	400 mg/m <sup>2</sup>	(bolus)
5-FU	2,400 mg/m <sup>2</sup>	(46hr持続)

2週毎